

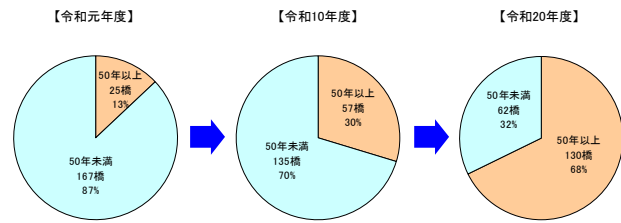
三条市橋梁長寿命化修繕計画

1.背景・目的

三条市は県のほぼ中央に位置し、北西部は日本一の大河・信濃川の沖積平野となっているほか、清流・五十嵐川が横断しています。

三条市は 666 橋の道路橋を管理しており、令和元年度までに 14.5m 以上の 92 橋、14.5m 未満の小規模橋梁 574 橋の長寿命化修繕計画を策定しました。計画策定対象の架設年次が明確な 192 橋では 1970 年代、1980 年代に多くが建設され、現在 50 年以上経過した橋梁は 13%ですが、20 年後には 68%となり橋梁の高齢化が急速に進行します(右図参照)。

このような背景から将来的な修繕・架け替え費用の増大が予想され、橋の適切な維持管理が必要となります。三条市の長寿命化修繕計画は、橋梁を長く大切に保全し、維持管理のコスト縮減を図り道路利用のサービスを提供することを目的に策定します。



架設後 50 年以上の橋梁の推移

2.長寿命化修繕計画の概要と取組み

長寿命化修繕計画では、従来の橋梁が傷んでから修繕を行う「事後保全」から損傷が軽微なうちに修繕を行う「予防保全」へ転換することで、より少ない修繕の費用で橋梁の長寿命化を図るとともに道路ネットワークの安全性・信頼性の向上に取り組めます。

(1) 計画対象橋梁

管理橋梁の 666 橋について新潟県橋梁定期点検要領に基づき 5 年周期に点検を実施、健全度区分に応じた対策方法を設定し、計画策定に反映、安全性を確保します。

(2) 維持管理の方針

- ・定期点検、パトロールにより状態把握に努め、必要な修繕などを継続的に実施します。
- ・橋梁を良好な状態に保ち、長寿命化に向けて日常的な清掃などに取組みます。

(3) 修繕計画策定と実施の方針

- ・点検などにより橋梁の損傷を適切に把握し、損傷種類や程度、橋の特徴や路線の重要性などを総合的に考察した上で修繕の方法や時期を決定し修繕計画を策定します。
- ・修繕計画に沿って令和 2 年度より順次、適切な修繕を行います。

3.長寿命化修繕計画による効果

(1) 安全性・信頼性の確保

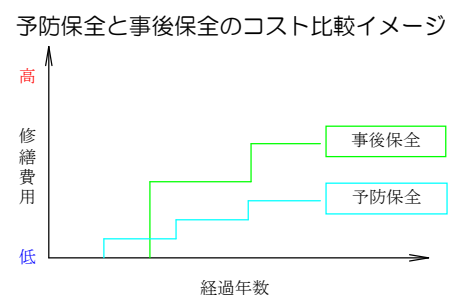
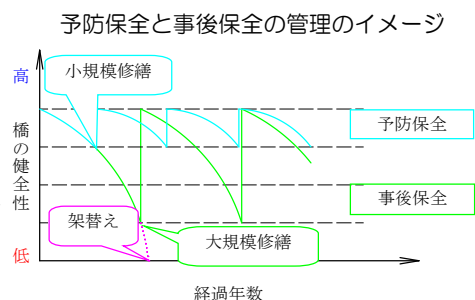
橋の損傷状態を継続的に把握し、適切な対応をすることで道路ネットワークの安全性・信頼性を確実に確保できます。

(2) コスト縮減の実現

従来の「事後保全」の管理から「予防保全」での管理の導入によりコスト縮減が期待できます。

(3) 平準化の効果

短期的な観点と中長期的な観点の双方を考慮して対策の優先性を判断することにより、限られた予算を有効活用できるとともに予算の平準化が図れます。



4.今後の方針・取組み

今回策定した計画に基づき、適切に橋梁の状態把握と修繕を行うことにより道路ネットワークの安全性・信頼性を確保するとともに橋梁の長寿命化とコスト縮減に努めます。

今後も定期的に点検を実施し、計画の見直しを行っていきます。

意見を頂いた学識経験者

この計画は橋の専門家から助言を頂き作成しています。

